

本書は、2種類の読者を想定しています。

まず、日本語教師になるつもりはないけれど、周りに外国出身の友人や同僚や隣人、あるいは家族がいて、その人たちの日本語の習得について少し知りたいと思う方々です。また、多文化社会の在り方に関心があったり、日本社会にいる外国籍住民や海外ルーツの子どもたちの現状について考えてみようと思う方々です。本書では、身近な題材を具体例としてあげながら、わかりやすく多文化社会の多様性のありようについて紹介し考えたいと思います。国際交流や地域の国際化に関心のある皆さん、介護の現場などの職場で外国出身の人たちと関わりのある皆さん、海外ルーツの子どもを受け入れている学校や地域の皆さん、今後は教育現場で先生となって活躍したいと思う若い皆さん、国際社会で活躍したいと思う皆さんなど、多くの人たちに手に取っていただきたいです。

想定している第二の読者は、日本語教育に関心がある、将来は日本語教師になるかもしれないと思う皆さん、あるいは、すでに教育機関や地域の教室などで日本語を教えている皆さんです。新しい時代の日本語教師になろうとする、あるいは、すでに教えておられる皆さんにとっても、ごく基本的なことがらの検討から、新しい視点や再考したいと思う点が見いだされるはずです。

本書は、大学学部の教養科目「日本語教育」「国際地域学」「言語と社会活動」など、日本語教員を目指さない学生たちが多いクラスの講義ノートと受講した学生たちとのやりとりがもとになっています。それぞれの章の終わりに「読書案内」と「課題」もついています。それらも参考に、できれば周りの仲間との「対話」を重ねながら、皆さんの学びを深めてくださったらと願います。

では、始めましょう。

目 次

はじめに iii

第1章 「広義の日本語教育」のために 3

- 1 狭義の日本語教育と広義の日本語教育 3
- 2 「異文化」との対立に、へこまないセンス 5
- 3 自文化中心主義とエポケー 7
- 4 「プログレス」にならない 8
- 5 「常識」「あたりまえ」の落とし穴 9
- 6 「脱亜入欧」? 「名誉白人」? を返上する 11

第2章 外国から来た人たちと日本語学習 15

- 1 日本社会の外国籍住民の受け入れ状況 15
- 2 限られている日本語学習機会 21
- 3 海外ルーツの子どもたちのことー日本語は「ペラペラ」だけ
23

コラム1 韓国と日本の外国人政策 29

コラム2 「あいだの人」 32

第3章 誰が「日本人」か、誰が「外国人」か 35

- 1 多様な「日本人」 35
- 2 「日本人」の類型 37
- 3 「第三者返答」ということ 40
- 4 「外国人」「ガイジン」ということば 40
- 5 本質主義って? 42

コラム3 誰のための日本語教育? 46

コラム4 国語教育と日本語教育 48

第4章 「やさしい日本語」 51

- 1 多言語情報は大事。しかし… 51
- 2 「やさしい日本語」とは？ 53
- 3 誰が「情報弱者」なのか 54
- 4 「やさしい日本語」使用の注意点 56
- 5 話すときの「やさしさ」 58
- 6 聞くときの「やさしさ」 60
- 7 書くときの「やさしさ」 61
- 8 「やさしい日本語」に翻訳してみる 64

コラム5 「やさしい日本語」の源流？「簡約日本語」とその背景 70

第5章 「やさしい日本語」への反対論から考える 73

- 1 「やさしい日本語」への反論 73
- 2 ことばは生きている 75
- 3 植民地時代からの「残留日本語」 75
- 4 「ら抜きことば」 77
- 5 英語だけでいいのか 79
- 6 読むときのやさしさ 83
- 7 ことばのバリアフリーへ 85

コラム6 「です」と「ます」：若者の意見 89

コラム7 自分の言語と競争力の強い言語 90

第6章 日本語を母語としない子どもたちへの日本語教育 91

- 1 「日本語指導が必要な高校生等」についての調査の衝撃 91
- 2 子どもの言語発達：プレリテラシー、一次的ことば、二次的ことば 93
- 3 あなたが担任の先生なら… 96

4 氷山モデル	99
コラム 8 「対話」について	103
コラム 9 夜間中学と日本語教室	105
第 7 章 どのように外国語を教えてきたのか 1	107
1 媒介語の有無	107
2 媒介語を使う外国語教授法：文法訳読法	108
3 媒介語を使わない外国語教授法：直接法	113
第 8 章 どのように外国語を教えてきたのか 2	121
1 反復練習で「正しさ」を身につける：オーディオリンガル法	121
2 アーミーメソッド	123
3 ASTP の成功の理由、そして短所	125
4 「正しさ」より「流暢さ」「ふさわしさ」：コミュニケーション・アプローチ	127
5 コミュニカティブ・アプローチの特徴	130
6 コミュニカティブ・アプローチへの批判：これまでの教授法から	134
7 コミュニカティブ・アプローチへの批判：第二のパラダイムシフト	135
コラム 10 行動中心アプローチ・CEFR-CV・仲介・「日本語教育の参照枠」	141
第 9 章 複言語主義と日本語教育	143
1 CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の理念としての複言語主義	143
2 多言語主義と複言語主義	147
3 えっ、わかる！：言語への目覚め活動	148
4 なぜ複言語主義か	152

5	日本語教育に、なぜ複言語主義か	157
---	-----------------	-----

第10章	日本の少数言語：手話を中心に	161
------	----------------	-----

1	手話についての基本的な質問から	161
2	手話は言語	162
3	ろう者の手話習得について	163
4	日本手話と日本語対応手話	167
5	ろう者への日本語教育	168
6	日本の言語	170
7	言語なのか？ 方言なのか？	172

コラム11	言語景観	175
-------	------	-----

第11章	ナショナリズムと日本語教育	177
------	---------------	-----

1	戦争と言語教育	177
2	オリンピックで応援するのは？	178
3	ナショナリズムということば	179
4	ナショナリズムと日本語教育の関係	180

おわりに	187
------	-----

第2章

外国から来た人たちと日本語学習

自分が外国に住むことになったとしたら、その地域のことばを勉強したいと思いますか。観光など一時的な滞在ではなく、一定期間滞在するとしたら、自分の母語もちろん使い続けたいと思うと同時に、その地域で使われていることばも勉強して使いたいと思う人が多いのではないのでしょうか。

仕事をしたり子育てをしたりするとき、その地域のことばを使えるようになることは、自分と家族の安全を守ることにもつながります。また子どもたちには母語を学ぶ権利もあります。この章では、日本にきた外国籍住民の人たちは、どこで、どのくらい、どのようにして、日本語や母語を学んでいるのかについて見ていきましょう。

【キーワード】外国籍住民、在留資格、日本語学習機会、日本語教育推進法、言語権、子どもたちの権利

1 日本社会の外国籍住民の受け入れ状況

日本で日本語を学ぶ人たちは、必ずしも「外国人」だけではありません。次章で見る通り、日本国籍の人も、あるいは複数の国籍を持っている人も学んでいます。ただ、ここでは在留資格別、国・地域別の外国籍住民の数と、その人たちの日本語学習状況を知ることによって、日本語教育の観点から日本社会を見たときの課題を浮き彫りにしてみたいと思います。ですので、まずは日本にいる「外国籍住民」の状況を数値で見してみましょう。

第3章

誰が「日本人」か、誰が「外国人」か

わたしたちはつい「日本人は～だ」「外国人だから～だ」と言ってしまうがちですが、では、「日本人」とはいったい誰のことでしょう。「外国人」とは誰のことを指すのでしょうか。そこから、「〇〇人」と一言でくってしまうことの不都合について考えます。そして、わたしたち皆が陥りがちな「第三者返答」と呼ばれる言動や、身近なことば遣いを例として、他者と、そして自身をも、ひとまとめにステレオタイプ化してしまうことの危険について、考えていきましょう。

【キーワード】「日本人」の類型、第三者返答、「ガイジン」、本質主義

1 多様な「日本人」

前章では、日本語教育の観点から日本社会の問題点について考えましたが、日本人とか外国人ということばを、わたしはかなり無雑作に使っていました。本章では、その「日本人」とはいったい誰のことなのか、「外国人」とは誰のことなのか、考えてみましょう。

スポーツ界で活躍している人たちのなかには、テニスの大坂なおみさんやバスケットボールのジョシュ・ホーキンソンさん、陸上のサニブラウンさん、WBC で活躍したヌートバー選手やダルビッシュ投手など、数え上げればきりがなくらいハイブリッドな「日本代表」選手がいます。経済界や政界でも、ソフトバンクの孫正義会長、沖縄県の玉城デニー知事、政治家の蓮舂さんなどもいます。2015 年のミスユニバース日本代表になったのは宮本エリアナさんでした。

内閣府 (2016)「国民のアイヌに対する意識調査 報告書」内閣官房アイヌ総合
対策室

福岡安則 (1993)『在日韓国・朝鮮人—若い世代のアイデンティティ』中央公論
社

Directed by David Neptune and Ken Tanaka with David Ury「But we're
speaking Japanese! 日本語喋ってるんだけど」

<https://www.youtube.com/watch?v=oLt5qSm9U80> (2024 年 1 月 15 日 最終
確認)

読書案内

『家(チベ)の歴史を書く』朴沙羅 (2020) ちくま文庫

在日コリアン二世の父と日本人の母を持つ著者は、ヘルシンキ大学で
教える若き社会学者。一世の家族たち、叔父や叔母は、どのように韓国
済州島から日本にやってきたのか、どのように大阪で生きてきたのか。
愛情とユーモアと驚きに満ちた家族の歴史を語ったのち、著者は「知ら
れていないことすら知られていない人々の体験を知ることは、しばしば
社会をよくするための手段」となると言います。自分の中にある「マ
ジョリティ性」を考えるためにも、貴重な一冊です。

『従順さのどこがいけないのか』将基面貴巳 (2021) ちくまプリマー新書

歴史家である著者は、本書では「政治」について語っています。そし
て、「従順であることを要求する心理的圧力が充満している」日本社会
にいて、政治に無関心でいることは、すなわち既存の種々の「権力」に
服従していることだとして、タイトルの通り、従順であってはいけない
と主張しています。日常生活の中の「不正」を「しかたがない」とあき
らめること、「みんながやっているから」と追従してしまうことの危険
に、あらためて気づきます。

この章を読んだあとで——課題

① これまで経験した、あるいは目撃した「第三者返答」について、思
い出してみてください。自分が受けたことも、自分が他者に対して行っ
たことも、あるいはそういう状況を目撃したこともあるかもしれません。

コラム5 「やさしい日本語」の源流？「簡約日本語」とその背景

「北風と太陽」という物語をご存知でしょうか。北風と太陽が、どちらが強いかが比べをします。「まず北風が強く吹き始めた。しかし北風が強く吹くほど、旅人はマントにくるまるのだった。ついに北風は、彼からマントを脱がせるのをあきらめた。」そののちに太陽が、旅人をぽかぽかとあたたかく照らし、暑くなった旅人がマントを簡単に脱いだというお話です。

1980年代の後半、国立国語研究所では、外国人が学びやすい日本語を考えようと、この物語を例として次のように書き換えました。

「まず北の風が強く吹き始めました。しかし北の風が強く吹きますと吹きますほど、旅行します人は、上に着ますものを強く体につけました。とうとう北の風は彼から上に着ますものを脱ぎさせますことをやめませんとなりませんでした。」

奇妙な日本語ですね。

これは簡約日本語と呼ばれ、賛否両論があり論争が起りましたが、やはりこの「奇妙さ」が災いし、国立国語研究所の試みは実を結びませんでした。

ここでは、簡約日本語が作られた1980年代の後半がどのような時期だったのか、考えてみましょう。バブルの絶頂期で、派手な時代でした。そして、現在は30万人以上いる留学生は、当時はまだ1万人ぐらしかいませんでしたが、このころから日本語を勉強する人たち、そして日本に入国する外国の人たちがどんどん増えてきたのでした。ジャパンマナーを目指して、というようなこともありました。日本に来る人たちと、日本語を勉強する人たちが爆発的に増えた時期です。この人たちにとって学びやすい日本語を、と考えられたのが、簡約日本語でした。

簡約日本語の研究と同じ時期、中曽根康弘さんという総理大臣がいて、その中曽根内閣が留学生10万人計画というのを打ち出しました。1983年、この当時わたしは学生でしたが、周りに留学生はほぼいませんでした。日本は、高度経済成長期を経て、たとえばODAなども世界第2位になって経済大国と呼ばれるようになってきていました。

一方で、エコノミックアニマルとか札束外交などとも言われ、お金はたくさんあるけれど国際的に何か尊敬されていないようだと、日本政府としては考えていたと思います。国連への拠出金などもたくさん出しているのに、なんだか尊敬されない、経済大国だけど文化大国ではない、国際的なプレゼンスが低いということについて、中曽根さん含め日本人の一部の人たちはジレンマなのか、くやしいような思いも持っていたと思います。国連の安全